

## VI セットアップ

この章では、システムを製品化した後に、配布するためのセットアップディスクを作成する方法を紹介する。

### 1 セットアップディスクの必要性

訓練計画システムが完成した後に、他のパソコンでもこれを動作させるためには、ソフトウェアを配布する必要がある。

MSDOSのような単純な環境では、実行ファイルだけを配布すれば事足りる場合が多かった。しかし、Windowsが普及するにつれ、実行ファイル以外にも、さまざまなファイルを配布しなければならなくなり、しかも、DLL (Dynamic Link Library) という、実行時に動的に呼ばれるファイルは、WindowsのSystemディレクトリ等にコピーしなければならない。

例えば、訓練計画システムの場合、13個のファイルを配布する必要があり、コピーすべき場所もまちまちである。

そこで、セットアップディスクを作成し、ソフトウェアを配布するのが一般的になった。今回は、Visual Basicのセットアップウィザードという機能を利用して、セットアップディスクを作成することにする。

### 2 セットアップディスクの作成

最初に、必要なファイルを洗い出す。以下のファイルは必須である。

訓練計画.exe	: 実行ファイル
行事例.txt	: 国民の祝日を集めた行事ファイルの例
行事訓練例.txt	: 仮想的な訓練内容を集めた行事ファイルの例
年間訓練計画.txt	: 年間訓練計画のスケルトン
月間訓練計画.txt	: 月間訓練計画のスケルトン
週間訓練計画.txt	: 週間訓練計画のスケルトン
MSACAL70.OCX	: カレンダーOCX

これ以外に、Visual Basicのランタイムが必要である。これだけの情報が集まったら、セットアップディスクを作成するために、セットアップウィザードを起動する。

そして、指示に順番に従っていくことによって、セットアップディスクが作成される。セットアップディスクの大きさは、1073106バイトとなった。これは、1枚のフロッピーディスクに十分格納できる大きさである。

### 3 セットアップディスクの動作確認

セットアップディスクが完成したら、動作を確認する。リストVI-1に、セットアッププログラムが参照するSETUP.LSTの内容を示す。これによって、どのファイルがどのディレクトリにコピーされるかがわかるようになっている。

[BootStrap]

File1=1,, setup132. ex\_, setup132. exe, \$(WinPath), \$(EXESelfRegister),, 11/9/1995, 16793  
6, 4. 0. 0. 2422

File2=1,, stkit432. dl\_, stkit432. dll, \$(WinSysPath),, \$(Shared), 11/9/1995, 24576, 4. 0. 24  
22. 0

File3=1,, VB40032. DL\_, VB40032. DLL, \$(WinSysPath),, \$(Shared), 11/9/1995, 721168, 4. 0. 26.  
19

File4=1,, ven2232. ol\_, ven2232. olb, \$(WinSysPathSysFile),, 1/24/1996, 37376, 2. 0. 0. 5924

File5=1,, olepro32. dl\_, olepro32. dll, \$(WinSysPath), \$(DLLSelfRegister), \$(Shared), 8/12  
/1996, 74000, 4. 1. 0. 6038

File6=1,, ct13d32. dl\_, ct13d32. dll, \$(WinSysPathSysFile),, 11/9/1995, 27136, 2. 30. 0. 0

File7=1,, VB4JP32. DL\_, VB4JP32. DLL, \$(WinSysPath),, \$(Shared), 11/9/1995, 33888, 4. 0. 26. 1  
9

[Files]

File1=1,, MSACAL70. OC\_, MSACAL70. OCX, \$(WinSysPath),, \$(Shared), 3/8/1996, 82944, 7. 0. 0. 2

File2=1,, DAO3032. DL\_, DAO3032. DLL, \$(MSDAOPath), \$(DLLSelfRegister), \$(Shared), 2/28/19  
96, 447760, 3. 0. 0.

2627

File3=1,, 訓練計画. ex\_, 訓練計画. exe, \$(AppPath), \$(EXESelfRegister),, 2/16/1997, 14131  
2, 1. 0. 0. 0

File4=1,, 月間訓練計画. tx\_, 月間訓練計画. txt, \$(AppPath),, 2/9/1997, 252

File5=1,, 行事訓練例. tx\_, 行事訓練例. txt, \$(AppPath),, 2/12/1997, 1238

File6=1,, 行事例. tx\_, 行事例. txt, \$(AppPath),, 2/11/1997, 486

File7=1,, 週間訓練計画. tx\_, 週間訓練計画. txt, \$(AppPath),, 2/9/1997, 221

File8=1,, 年間訓練計画. tx\_, 年間訓練計画. txt, \$(AppPath),, 2/8/1997, 283

[Setup]

Title=schedule

DefaultDir=\$(ProgramFiles)¥schedule

Setup=setup132. exe

AppExe=訓練計画. exe

AppPath=

リストVI-1 セットアップ参照リストSETUP. LST

それでは、実際のセットアップの手順を示す。

(1) セットアップディスクの挿入

訓練計画システムのセットアップディスクを、パソコンのフロッピーディスクドライブ

に挿入する。

(2) セットアッププログラムの起動

SETUP.TXTというファイルを実行する。

これは、Windows95の「エクスプローラ」から行ってもよいし、「MS-DOSプロンプト」から行ってもよい。コントロールパネルの「アプリケーションの追加と削除」から行ってもよい。

(3) セットアップ開始画面

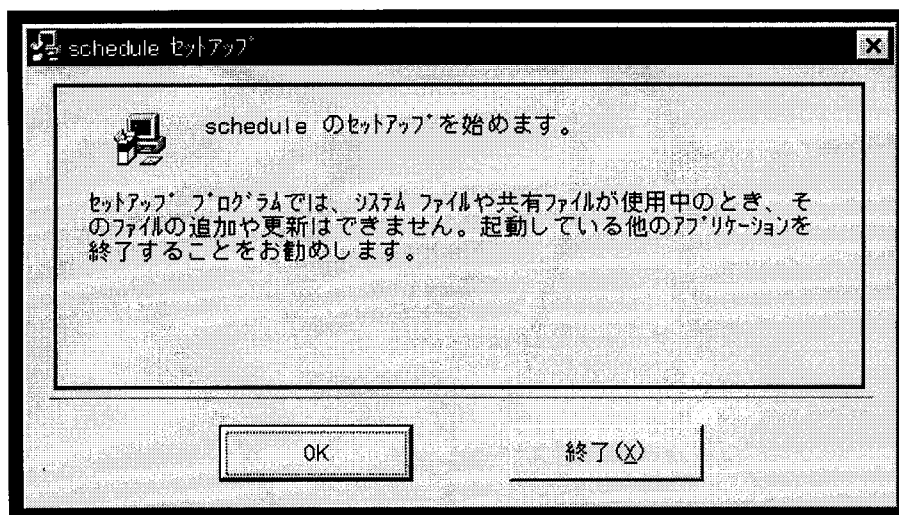
図VI-1のようなセットアップ開始画面が表示される。

セットアップを行う場合、DLLを変更することになる。ところが、一般に、Windows上のソフトウェアはDLLを共有する。そのため、セットアップで更新したいファイルが排他使用されていて、更新できないことが発生する可能性がある。

そこで、セットアップを行うときには、既に起動している他のソフトウェアを停止させてから行うことが望ましい。

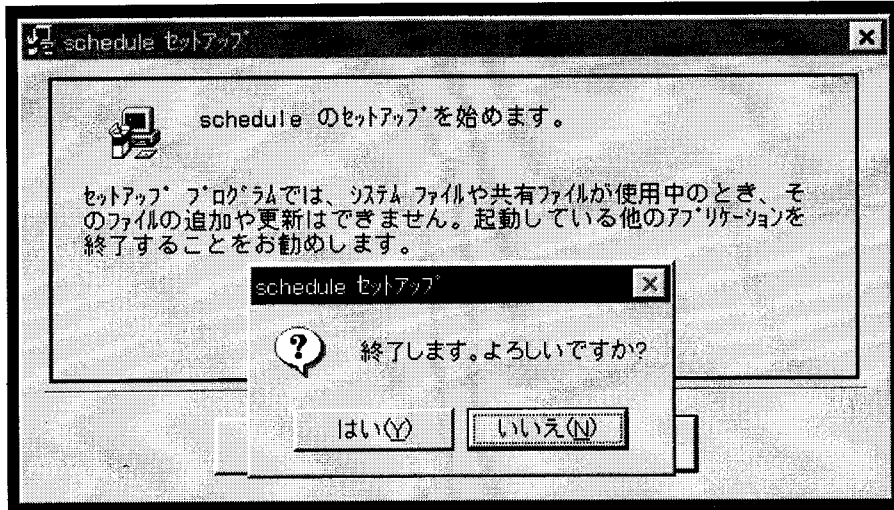
セットアップ開始画面で、「OK」ボタンを選択する。

すると、訓練計画システムSCHEDULEのセットアップが開始される。



図VI-1 セットアップ開始画面

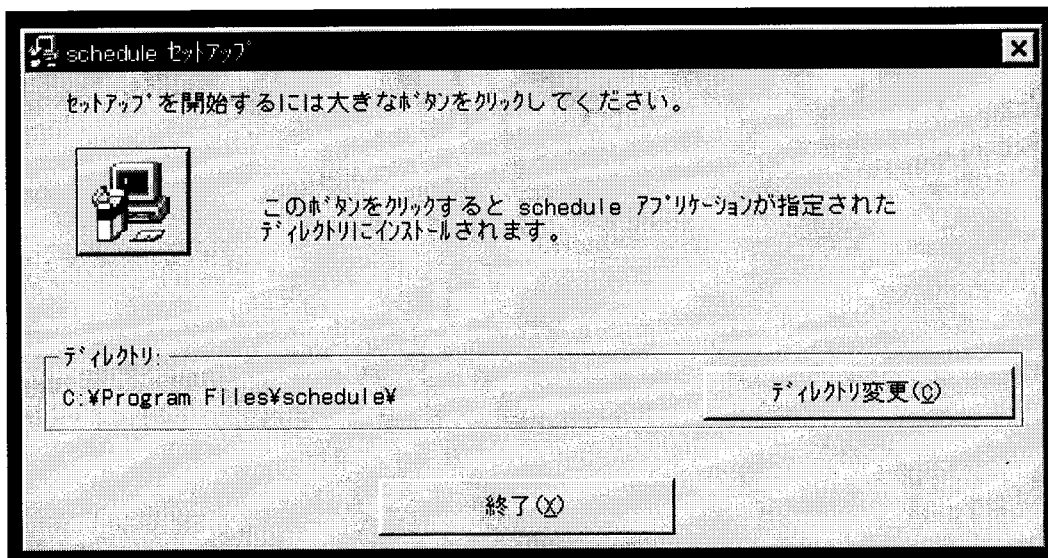
もし、「終了」ボタンを選択すると、図VI-2のようなセットアップを中断するか否かを問い合わせるダイアログボックスが表示される。そして、既に設定した環境を削除するために、アンインストーラというソフトウェアが起動され、セットアップ開始以前の状態にシステムを戻してくれる。



図VI-2 セットアップ終了画面

(4) セットアップ環境設定

図VI-3のようなセットアップの環境設定画面が表示される。

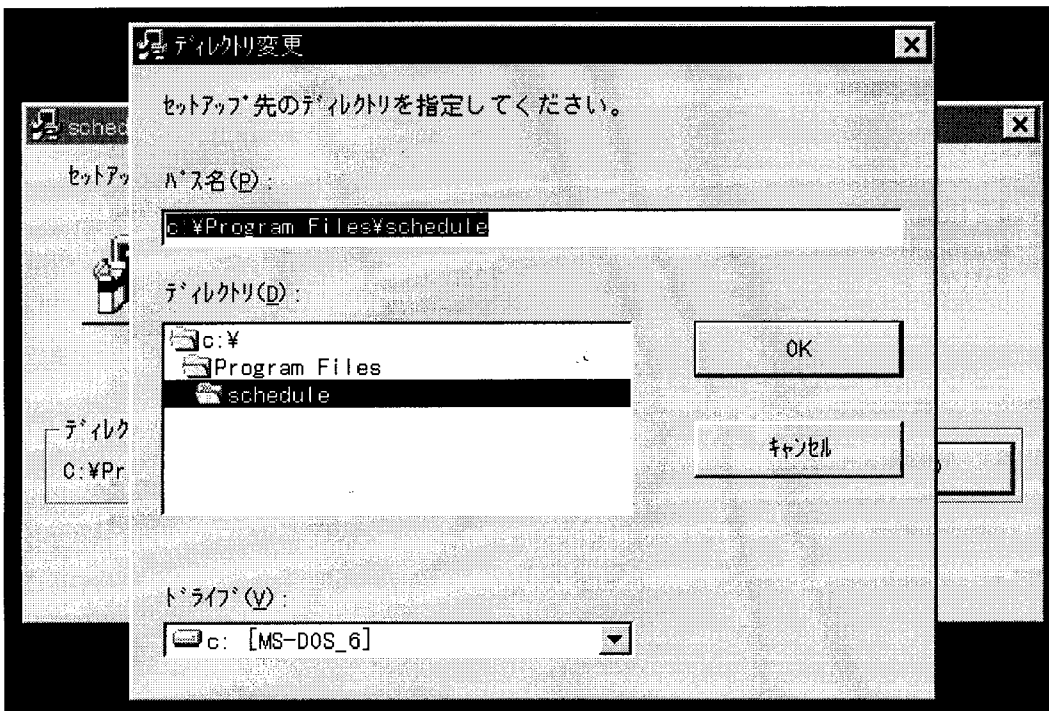


図VI-3 セットアップの環境設定画面

ここで、パソコンの絵のついたボタンを選択すると、SCHEDULEのインストールが開始される。

ここで、なにも指定しないと、Windows95のソフトウェアを格納する最も一般的なディレクトリである、「Program Files」にSCHEDULEはインストールされる。

もし、ディレクトリを変更したいときは、「ディレクトリ変更」ボタンを押す。すると、図VI-4のようなディレクトリ変更画面が表示される。



図VI-4 ディレクトリ変更画面

ここで、変更したいディレクトリを選択し、「OK」ボタンを押せば、そのディレクトリにSCHEDULEがインストールされる。

また、「キャンセル」ボタンを押せば、ディレクトリの変更はされず、図VI-3のセットアップの環境設定画面に戻る。

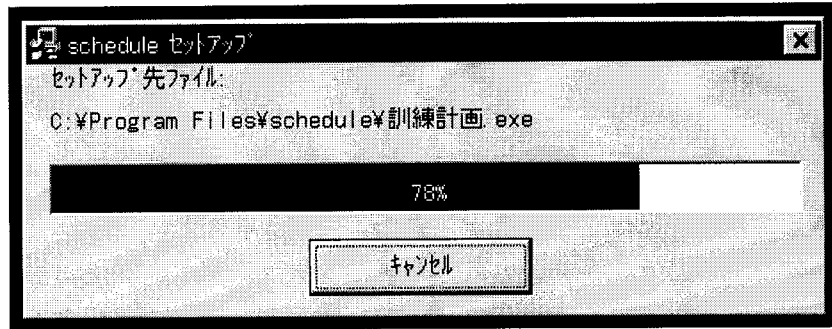
#### (5) セットアップ中

図VI-5は、SCHEDULEのインストールの状態を表示する画面である。0%から100%に次第に表示が変わり、100%の表示になったところで、インストールは終了する。

インストールでは、フロッピーディスクに圧縮して格納されていたファイルが展開され、ハードディスクにコピーされる。

ここで、「キャンセル」ボタンを押すと、インストールの途中で処理は中断され、セットアップは終了する。

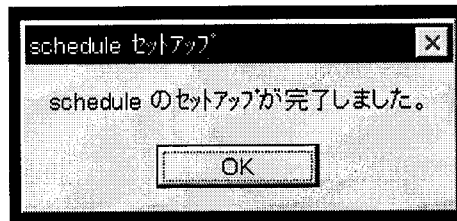
また、他のソフトウェアが、インストールするのと同じ名前のDLLを使用しているときなどには、その旨のメッセージが表示され、インストールを継続するか、中止するかの問い合わせがある。



図VI-5 SCHEDULEのインストールの状態を表示する画面

(6) セットアップ完了

最後に、図VI-6のように、SCHEDULEのセットアップが完了したことを示す画面が表示される。



図VI-6 SCHEDULEのセットアップ完了画面